

町の無料開講講座を紹介する連載コーナーです。今号は「藤手芸教室」と「古典舞踊教室」を紹介します。

File.08



伝統を受け継ぐ、優雅な舞の世界  
古典舞踊教室



場所 中央公民館 生徒数 10名(令和元年度) 開講日 第1・3木曜日 時間 19:00-21:00



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。  
2 「さかい新春の集い」での披露風景。  
3 生涯学習フェスティバルでの発表の様子。扇や傘など、華やかな小道具と共に行われる優雅な舞も、古典舞踊の特徴です。

参加者の声

●平山 由美子さん

生涯学習フェスティバルでの発表を見て、魅力を感じ参加しました。古典舞踊の表現は難しいですが、月2回の教室の合間にも、覚えた踊りを自主練習することもあり、生活に張り合いを感じています。

●塚原 のり子さん

生徒歴16年。先生からは、基本の所作をはじめ、礼儀やマナーを学べます。教室の雰囲気も良いので、長く続けることができました。踊りを覚えることは大変ですが、披露できる場があることが喜びです。

●石川 初枝さん

姿勢もよくなりますし、大好きな着物を着る機会が増えるのでやってみたくて、生徒歴は16年に！生徒数は少ないですが、濃い内容で充実していて楽しいです。若い方にもぜひ参加してほしいです。



古典舞踊教室  
講師 片倉 幸子 先生

日々の暮らしにも役立つ  
美しい所作と身のこなし

3歳より母の影響で姉妹全員で舞踊を始め、65年もの間舞踊に携わり、坂東流の古典舞踊を教えています。

町の講座は開講16年目になります。古典舞踊は三味線や琴の演奏に合わせて、1〜2名で踊るのが基本です。講座では、複数で踊る「群舞形式」をとっています。

正しい姿勢やしなやかな動きを基本に、歌や振り付けの意味を丁寧に説明しながら教えています。舞踊と聞くと難しく思われがちですが、「踊りは丸く動く」ことを常に意識することで普段の生活でもしなやかさが育まれます。生徒さんの個人の身体能力に合わせて振り付けや配置を考へることでどなたでも踊りを楽しめるように配慮しています。

初めての方でも、着物や道具は先輩方から貸与可能です。興味がある方は気軽に参加してみてください。

問合せ 中央公民館 ☎公民館 81-1340

File.07



藤編みで作る、私の好きなもの  
とう  
藤手芸教室



場所 シンパシーホール 生徒数 16名(令和元年度) 開講日 第1・3火曜日 時間 9:30-11:30



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。  
2 「次は何を作ろう？」使いたいもの、飾りたいものを考えながら、相談する時間も楽しみのひとつ。  
3 生涯学習フェスティバル展示部門で発表された藤作品。

参加者の声

●相良 貞子さん

90歳ですが、認知症予防のために10年以上続けています。この教室にいれば、仲間とわいわい交流ができてとても楽しいです。先生の教え方は丁寧で個性が発揮できるように指導してくれるのでありがたいです。

●関 八重子さん

一緒に藤手芸を習おうと友達に誘われて参加し3年目になりました。作品が出来上がった時の喜びや達成感が心地よく楽しく続けています。毎年、家族で干支の動物を藤手芸で編んで玄関に飾っています。

●飯田 典子さん

藤手芸を始めて10年以上経ちましたが、実用的に使えるようなダストボックスや花かごを作成しています。教室の雰囲気も和気あいあいとしており、笑いが絶えない中で取り組むことができとても充実しています。



藤手芸教室  
講師 倉持 次枝 先生

自然素材の温もりで  
自宅を華やかに!

30年以上の藤手芸の経験を生かして、20年程前に開講しました。藤は軽くて丈夫。使い込むほど光沢のある美しい鉛色に変化していく魅力も魅力で、自然素材のぬくもりを肌で感じる事ができます。

教室の特徴は、生徒さんの好きな藤作品を作れるところです。年に一度だけ講座生全員で干支にちなんだ小物を作りますが、それ以外は、実用的な小物入れから壁飾り、人形、装飾品など、自由に様々な作品を編み上げます。秋には、野外へ行き、ぶどうやクズ、あけびのつるなどを採取し、季節を感じるカゴ等の制作にも取り組んでいます。

初めての方でも、簡単な小物なら2時間ほどで完成します。ご自宅を彩る手作りの藤手芸、和気あいあいとした雰囲気のある教室ですので、お気軽にご参加ください。

問合せ シンパシーホール ☎ 87-5858